

図1 共同カンファレンスを実習指導体制に活かすためのシステム

## 看護技術の学習に関する指導要領

看護技術の学習に関する指導要領は、臨地実習における看護技術学習の基本的な考え方と、看護技術の学習目標について示すものである。但し、この指導要領に記載している看護技術は、臨地実習中にすべての学生が必ず実施すべきであるという位置づけで記載したものではないことに留意したい。学習目標は、学生個々の学習到達度や、対象者の状況に応じて柔軟に考える必要がある。

### 1. 臨地実習における看護技術学習の基本的考え方

- 1) 患者の権利と安全の保障を最も優先する。
- 2) 学生自身の安全が保証されるよう、対象者の選択や実施状況について十分に配慮する
- 3) 検査、処置への見学・介助は、原則として患者への同意を得た上で実施する。
- 4) 看護技術の学習にあたっては、患者の背景や患者との関係性をふまえて実施する。
- 5) 原則的には臨床指導者あるいは指導教員の指導、監督のもとで実施する。

### 2. 看護技術の学習目標について

#### <学内学習>

- A: 講義のみ
- B: ビデオ、あるいはデモンストレーションによる学習
- C: モデルや機器を用いての模擬練習
- D: 学生同士で模擬実施

#### <臨地実習>

- A: 事前学習のみ（テキストでの学習のみ）
- B: 見学のみ（看護者が実施するところを見学する。患者への声かけなどはするが技術介助は行わない）
- C: 一部実施（看護者が実施することを見学しながら、できる部分を実施する）
- D: 実施（看護者の補助、あるいは監督のもとで、自分で技術を実施する）
- E: 単独で実施（但し、その患者に合わせた注意事項を確認の上で行う）

技術領域毎の学習目標

技術領域	技術項目	技術細目	学内 演習	臨床 実習
生命兆候を見守り、支える技術	バイタルサイン 測定	脈拍測定	D	E
		血圧測定	D	E
		体温測定	D	E
		呼吸測定	D	E
		心拍聴取	D	DE
		呼吸音聴取	D	DE
		O2SAT測定	D	DE
		モニター心電図	D	DE
		12誘導心電図	D	C
		心音聴取	D	D
		腸雑音聴取	D	DE
		視診(一般状態)	D	D
		打診(胸腹部)	D	D
		触診(腹部など)	D	D
	呼吸への援助	一時吸引(気管内)	C	D
		一時吸引(口腔内)	D	D
		低圧持続吸引器の使用 方法(メサキューム)	B	C
		卓上ネブライザー	D	D
		超音波ネブライザー	D	D
		マスク	D	D
		体位ドレナージ、タッピング、 スクイージンウ	D	D
		酸素吸入法、準備	C	C
		酸素ボンベの扱い方	C	C
	危険防止への援助 感染予防	ベッド柵の使用	D	E
		手洗い(一般的手洗い)	D	E
		手指消毒法	D	E
		無菌操作	D	D
		滅菌手袋の装着	D	D
		ガウンテクニック	D	DE
	体温調整	氷枕	D	E
		温罨法	D	D
		冷湿布、アイスノン	D	E
		温湿布	D	E
		氷嚢(つくり方と装着部 位)	D	E

日常生活を支える技術	環境整備	病室・病床の環境整備	D	E
		ベッド整頓	D	E
		ベッド・メーカー	D	E
		ベッド整頓(臥床患者)	D	DE
		シーツ交換(臥床患者)	D	D
	活動と休息への援助 (運動・移送)  * 対象者の状況により異なる	安楽な体位	D	E
		体位変換	D	D
		マッサージ	D	E
		車イス介助移動介助	D	DE
		ストレッチャー移送	D	D
		歩行器の使用	D	DE
		歩行介助	D	DE
	清潔への援助  * 輸液ポンプ等のある場合は、D	全身清拭(介助)	D	E
		全身清拭(臥床での)	D	D
		寝衣交換		
		寝衣交換	D	DE
		足浴(座位)	D	E
		足浴(臥床)	D	E
		陰部洗浄(臥床)	C	DE
		入浴介助(風呂場)	A	E
		入浴介助(リフトバス)	A	D
		手浴(臥床)	D	DE
		洗髪(臥床)	D	D
		洗髪(座位)	D	E
		口腔清拭(義歯の手入れ含む)	D	E
		耳・鼻の手入れ	B	E
		髭剃り	A	E
	結髪	D	E	
	爪きり	A	E	
	食事への援助	食事介助	D	E
		経管栄養(準備・実施)	C	CD
	排泄への援助	おむつのあて方(成人)	B	D
コモードポータブル使用患者		D	DE	
尿器の使用方法		D	E	
摘便		C	C	

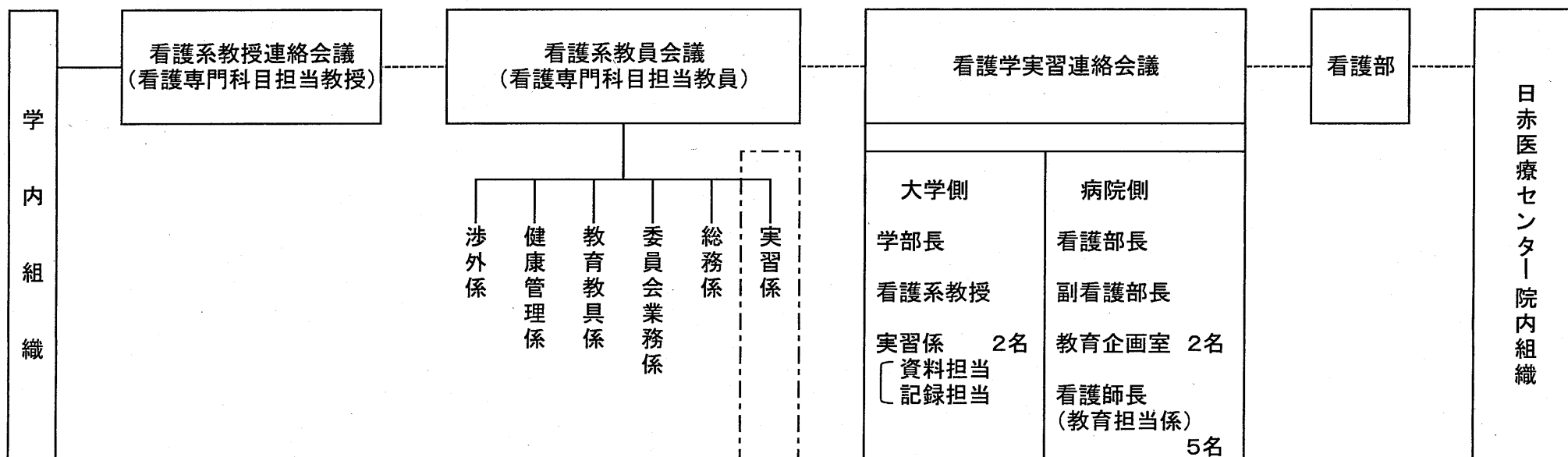
		留置カテ管理(フォーレ)	C	D
		留置カテーテル(男・女)挿入	C	C
		グリセリン浣腸	C	CD
		一時的導尿	C	BC
診断・治療を補佐する技術	与薬、採血	採血	D	D
		検体採取(便、尿)	A	D
		経口与薬	B	D
		麻薬の取り扱い	A	B
		座薬	A	D
		点眼	A	DE
		筋肉注射(肩、臀部)	C	D
	注射の確認	静脈内注射の準備、介助	D	D
		輸液ポンプの使用方法	C	D
		輸血の準備、介助	A	BC
		輸液の準備	D	D
		皮内注射	C	D
		皮下注射	C	D
		中心静脈内注射の準備、介助	B	B
		点滴の抜去	C	D
		輸液ルート of 清潔管理	D	D
	検査介助	胸腔穿刺	A	B
		腹腔穿刺	A	B
		腰椎穿刺(間接介助等)	A	BC
		ERCP	A	B
		PTCA	A	B
		FBS測定	D	CD
		血管造影	A	B
		CT, X線	A	B
	身計の計測	体重測定	D	E
		身長測定	D	E
		腹位測定	D	E
		胸囲測定	D	E
		頭囲測定	D	E
		握力測定	D	E
	創処置	包帯交換時の介助	D	D
		創処置法	B	C
		ストーマケア	B	C
褥創ケア		B	C	
術前のケア	術前オリエンテーション	A	D	

	術前訓練	C	DE
術後のケア	術後の観察	A	D
	術後のリハビリテーション	A	D
リハビリテーション	関節可動域の測定	A	D
	関節の屈曲(拘縮予防)	C	D
	歩行訓練	A	D
救急時の援助	気道確保の体位	D	B
	エアウェイの挿入	C	B
	心マッサージ	C	B
	人工呼吸(アンビューバック)	C	B
	人工呼吸(レスピレーター)	B	B
汚物・廃棄物処理	注射針の処置方法	D	D
	注射器など医療廃棄物処理	D	D

\* BC CD DEとなっている箇所は、対象者の状況や学生個々の学習到達度によって判断する

看護学実習指導組織に関する学内組織と日本赤十字社医療センター院内組織との関係

日本赤十字看護大学  
濱田 悦子



- 看護系教員会議  
[実習に関する事項]
1. 看護実習の意義と目的(到達目標)
  2. 看護実習指導計画(配置計画含)に関する事項
  3. 看護実習指導者の指導・教育に関する事項(研究会の企画)
  4. 看護実習単位認定に関する事項

- 看護実習連絡会議
1. 看護実習の受け入れ体制に関する事項
  2. 看護実習指導体制及び指導計画に関する事項
  3. 看護実習指導の具体的方法
  4. 看護実習に関する問題事項